

令和 9 年度以降の市民事業支援制度について（案）

1 第 103 回委員会振り返り

(1) 先進的な取組の審査について

- ・市民事業専門委員会の審査会の場で、先進的な取組かどうか判断するのは難しいため、委員による書類選考の前に専門家より先進的な取組かどうかの判断をもらうこととした。

(2) 公開プレゼンテーションについて

- ・イベント開催の選考方法にプレゼンが不要なのであれば、新規団体や先進的な取組、一定額以上の申請はプレゼンを行ってもらおうという方法でも良いのではないかと感じる。
- ・水源環境保全税を活用するのであれば、プレゼンを行うべきである。

(3) 一次選考及び二次選考の審査方針について

- ・書類審査でつけた点数をプレゼン内容により修正し、最終点数とするのがよいのではないかと感じる。

(4) 申請様式について

⇒事務局案のとおりで承認を得た。

(5) 中間報告について

⇒事務局案のとおり、メールにて事業実施状況を報告してもらうこととした。

2 事務局案

(1) 補助率や補助上限額など

申請区分		補助上限額	補助率	対象経費
A. 13 事業に類する事業	①森林（里山林含む）の保全・再生事業 （間伐、枝打ち、下草刈、植樹、植替え、シカの捕獲等）	50 万円 （100 万円※ ₁ ）	10/10	事業の実施に直接要する経費※ ₃
	②間伐材の利活用促進事業 （間伐材を利用した製品の製作等）			
	③河川・地下水の保全・再生事業 （河川の浄化対策、地下水かん養対策等）			
	④普及啓発・教育事業 （都市部住民との交流事業）			
	⑤調査研究事業 （水源環境モニタリング等）			
	⑥その他の事業 （生活排水処理対策等）			
B. 資機材の購入・更新※ ₂	13 の事業に類する事業	累計 50 万円		事業の実施に直接要する経費

※₁ ①～⑥の事業で先進的な取組（今後神奈川のモデルとなるような取組）である場合

※₂ 資機材の更新の場合のみ、Aの申請に関わらずBのみ申請可能

※₃ 食糧費は補助対象外（熱中症対策の飲料は可）

◆過去に補助実績がある団体も申請可能

◆補助期間最大 10 年

◆対象地域

①②③⑥神奈川県内水源保全地域内

④神奈川県全域

⑤対象地域の制限なし（ただし、本県の水源環境の保全・再生に資する内容）

◆先進的な取組についての審査

⇒申請があった際は、事前に事務局や専門家による先進的な取組かどうかの判断を行う。

◆資機材の更新について

・過去（現行制度を含む）に市民事業支援補助金を活用して購入した資機材に限る。また、申請は、資機材の耐用年数に応じて対応する。（耐用年数以前の更新は不可）補助金の手引きに資機材の耐用年数の目安表を記載する。

(2) プレゼンテーションについて

(現行) 1次審査で採択された全ての申請団体において、毎年プレゼンテーションを実施。

【案】条件付きでプレゼンを省略(原則実施)

プレゼンを行う団体→ 新規団体や継続団体のうち前年度と申請内容が異なる団体、
先進的な取組を申請した団体

プレゼンを省略する団体→ 継続団体のうち、前年度と申請内容が同様の団体、単発イベントを申請した団体

(3) 1次選考及び2次選考の選考方針について

<プレゼンを行う団体>

(現行)

- ① 選考方針に沿って審査評点をつける
- ② 1次選考は書面審査の審査評点を基に、選考を行う(A, Bは採択/Cは不採択)
- ③ 審査評点は考慮せず、プレゼン内容を合議する。

【案】2次選考にて最終的な審査評点を確定し、選考を行う

- ① 選考方針に沿って審査評点をつける
 - ② 1次選考は書面審査の審査評点を基に、選考を行う(A, Bは採択/Cは不採択)
 - ③ プレゼン内容により、②の評点を修正し、最終的な審査評点を決定し、選考を行う。
- ※選考結果について、申請団体から問い合わせがあった際の材料となる。

<プレゼンを行わない団体>

- ① 選考方針に沿って審査評点をつける
- ② 1次選考は書面審査の審査評点を基に、選考を行う(A, Bは採択/Cは不採択)

(4) イベント開催について

申請区分	補助上限額	補助率	対象経費
神奈川県内で行う13事業に関するイベント	10万円	10/10	謝金、役務費、需用費、備品費（容易に他の目的に使用できるものを除く）、使用料・賃借料等

- ◆精算払
- ◆年2回受付を行い、市民事業専門委員による書面審査
- ◆申請は1団体1申請のみ
- ◆1日又は連続した2日間のイベントを対象

① スケジュール案（4月～12月開催イベント用）

タスク	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	
①募集	募集									約3か月											
②事務局による予備調査										調査			2～3週間								
③委員による書類選考													選考			3週間					
(4)団体への確認事項																確認			(2週間)		
⑤委員への結果通知																					結果通知
⑤団体への決定通知																					決定通知
(参考) 補助金スケジュール				募集									1次選考			2次選考			決定通知		

② スケジュール案（10月～3月開催イベント用） →R9年度下半期から実施するか。

タスク	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	
①募集	募集									約3か月											
②事務局による予備調査										調査			2～3週間								
③委員による書類選考													選考			3週間					
(4)団体への確認事項																確認			(2週間)		
⑤委員への結果通知																					結果通知
⑤団体への決定通知																					決定通知
(参考) 補助金スケジュール													チラシ配布			募集案内配布					募集